



歴史に学ぶ未来へつなげる

～緑と笑顔のあふれるまち～

まちのシンボル

～私たちのまち河内長野～

●シンボルキャラクター「モックル」
平成9～10年に市民から募集したデザイン349点・愛称535点の中から決定。市の木「くすのき」と、市の資源である「緑」をモチーフに擬人化したもので、市の豊かな自然を表す「木（モク）」と、人・まち・緑でつくる夢の「輪・仲間（サークル）」から名付けられました。



●生涯学習推進マスコット「くろまるくん」
河内長野市高向出身とされる高向玄理にちなんだ生涯学習推進のマスコットキャラクター。

■高向玄理とは
608年に日本初の国費留学生に選ばれて隋（中国）に渡り、32年もの長期間、様々なことを学びました。帰国後は、国博士に任命され、中央政権で新しい国づくりを行い、特に外交において大きな力を発揮しました。



●テラコッタドール
素焼きの植木鉢を組み合わせる「テラコッタドール」。市では、東日本大震災からの復興支援の取り組みを機に、テラコッタドールの持つ素朴な温かみや複数の人で助け合える製作過程などから、協働のシンボルと位置付け、普及を進めています。



市制施行 60周年を迎えて

河内長野市長 芝田啓治



市制の選暦にあたる60周年の節目を、市民のみならずともにお祝いできることを大変うれしく思います。

都心近くにありながら豊かな自然に囲まれた私たちのまちには、貴重な歴史・文化遺産も数多く残されています。この恵まれた環境を「ちかくて、ふかい奥河内」として市内外へ魅力を発信するなど、今日まで大切に守り育まれてきたまちの財産を生かした施策を引き続き推進してまいります。

また、古くは、日本初の国費留学生として隋に渡り、大化の改新期の新しい国づくりに国博士として活躍した高向玄理ゆかりのまちでもあります。玄理の没後1360年にもあたる今年、夏に「くろまるミュージカル」の上演、秋には出身地とさ

れる高向地区と亡くなった中国・西安市に、有志による顕彰碑の建立も予定されています。市長として、行政制度の確立に尽力した郷土の偉人の志を受け継ぎ、「わがまちに玄理あり」の思いを胸に、全力で市政運営に取り組んでまいります。

この記念誌「かわちながの温故知新」は、先人の築き上げてきた歩みを振り返り、現在の姿を確認することで、一人ひとりにまちの将来像を描いていただくことを期待し制作したものです。この機会に、ふるさとに対する理解を深め、一層の愛着を感じていただければ幸いです。今後、「みんなで一緒につくるまち」を合言葉に、協働によるまちづくりを推進してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Contents

市制施行60周年を迎えて	2
まちのシンボル	
故きをたずねて	4
～あこのころの河内長野～	
暮らし編 / 賑わい編 / 風景編	
60年のあゆみ	10
かわちながのいろいろはかるた	18
子どもたちが考える	
かわちながの未来予想図	20
市制60周年をともに祝おう	22
～市制施行60周年記念事業が決定～	
希望あふれる未来へ ～奥河内・教育立市～	23